

チャレンジハイク

1 活動内容とねらい

グループで、地図に示されたポイントをさがして歩きます。ポイントではクイズや簡単なゲームを行い、時間やクイズ等の得点を競います。協調性、計画性、創造力、判断力を身に付けることができます。

2 実施上の基本事項

- (1) 期間：年間通して実施できます。
- (2) 所要時間とコース：2～3時間
コースはグループの判断により変わります。
- (3) 人数・グループ編成：6、7人で、男女混合のグループ編成が望ましいです。
- (4) 事前打ち合わせ：ア 引率者は、コース、人数、実施方法等について所員と事前に打ち合わせを行ってください。
イ コースの危険個所や分岐点等に指導者を配置してください。
- (5) コースの選定と実地踏査：引率者は安全確保の面から事前に実地踏査を行い、コースの状況等を把握し、万全を期してください。

3 実施の概要

- (1) 役割と活動内容：ア 担当者 1名（全体総括、当所との連絡調整、指導）
イ 補助者 若干名（必要物品の借用・返納、ポイントでの出題等）
- (2) 使用する用具等：ア 個人装備（地図、筆記用具、ナップザック類、雨具、軍手、帽子、水筒、タオル、ティッシュ等）
イ 団体装備（クリップボード（班数分）、ビブス（班長着用）、救急薬品等）
※ 無線機（長距離用）、クリップボード30枚、ビブス40枚は貸し出しできます。

(3) 実施プログラム例

時間	内容	指導上の留意点
15分	○集合 ○チャレンジハイクの説明と諸注意	・人数確認、健康観察、携行品の確認をします。 ・地図をグループに1枚ずつ配布します。 ・地図の見方やゲームのルール、進め方について説明します。 ・植物や昆虫等を採取しないことや、蜂や毒蛇、イノシシの被害にあわぬよう藪に入ったり、立木をたたいたりしないよう指示します。
90分	○チャレンジハイク ○ゴール	・グループ単位で助け合いながら行動するよう指示します。
15分	○表彰・まとめ・ふりかえり ○事務室への報告と借用物品の返納	・人数確認、健康観察をします。 ・チャレンジハイクの感想を発表させます。 ・次の活動について指示します。

※ 各ポイントでの出題例

- ・1～4の数字を書いた割り箸を引き、点数の合計をポイントとする。
- ・引率者2人の年齢の合計を当てる。ピタリ賞を10点とし、減点していく。
- ・かごに松ぼっくりを投げ入れる。入れた数がポイントとなる。
- ・引率者とジャンケンをして、勝った人数をポイントにする。
- ・引率者が用意した輪の中に羽を入れた人数をポイントにする。
- ・30秒以内にいくつ「しりとりに」できたかをポイントにするなど。

4 その他

チャレンジハイクはポスト探しゲームと合わせて実施できます。